

JAL グループ、2007 年度 貨物事業 路線便数・機材計画を策定！

～767 型貨物機を中国・アジアの新路線に投入し、ネットワークの拡充を図ります～

2007 年 2 月 8 日
第 06129 号

JAL グループはこの度、2007 年度の貨物事業 路線便数・機材計画を策定しました。

JAL グループは現在、2009 年度以降の成田・羽田の発着枠拡大に備えて、「安定した利益を生む事業構造の構築」を進めております。貨物事業においても 747 在来型貨物機の退役を促進するとともに 767 型貨物機の新規導入と 747-400 型貨物機の追加導入により、更なる収益性の向上を図ります。

新機材 767 型貨物機の投入に伴い、2007 年 7 月より天津、青島へ、10 月よりジャカルタへ、それぞれ貨物便を新規に就航させ、これまで以上にアジア・中国のネットワークを拡充させます。また一部の便を関西空港、中部空港発着とすることで、関西圏・中部圏のお客様の利便性を向上させながら旺盛な貨物需要にお応えします。



路線便数・機材計画の主な変更点は以下の通りです。

1. 新規就航路線

【中国路線】

路線	便数変更	内容	変更時期
東京-大阪-上海-大阪	週 0 便→3 便	767 貨物機で新規就航 (関空深夜貨物便)	07 年 7 月
	週 3 便→4 便	増便	07 年 10 月
大阪=大連	週 0 便→1 便	767 貨物機で新規就航	07 年 7 月
	週 1 便→2 便	増便	07 年 10 月
大阪=青島	週 0 便→1 便	767 貨物機で新規就航	07 年 7 月
大阪-青島-東京	週 0 便→1 便	767 貨物機で新規就航	07 年 7 月
東京-名古屋-天津-東京	週 0 便→2 便	767 貨物機で新規就航	07 年 7 月
大阪-香港-東京	週 0 便→2 便	767 貨物機で新規就航	07 年 7 月
	週 2 便→3 便	増便	07 年 10 月

【東南アジア路線】

東京-クアラルンプール -ジャカルタ-東京	週 0 便→2 便	767 貨物機でジャカルタへ新規就航 (クアラルンプールは 747 貨物機から変更)	07 年 10 月
--------------------------	-----------	---	-----------

2.その他路線の変更点

【中国路線】

東京=大連	週 1 便→1 便	747 貨物機から 767 貨物機へ変更	07 年 7 月
-------	-----------	----------------------	----------

【東南アジア路線】

東京-シンガポール -バンコク-東京	週 1 便→1 便	747 貨物機から 767 貨物機へ変更	07 年 10 月
東京-シンガポール-クアラルン プール-バンコク-東京	週 2 便→0 便	747 貨物機での運航を 3 地点寄航から 2 地点寄航へと変更し、クアラルンプー ルは 767 貨物機にて運航	07 年 10 月
東京-シンガポール-バンコク -東京	週 0 便→2 便		
東京-クアラルンプール -バンコク-東京	週 0 便→1 便	767 貨物機にて増便	07 年 10 月

【太平洋線】

西海岸路線に 747-400 型貨物機を投入し、従来のアンカレッジ寄航から、往復直行化することで、運航時間の短縮と費用削減を図ります。東海岸路線では一部曜日の便数と経由地の構成を見直します。

3.機材計画

747 在来型貨物機の退役を促進し、2007 年度中に 5 機を退役させます。また 767 型貨物機を 3 機、747-400 型貨物機を 3 機導入します。

なお、当計画は関係官庁の認可を前提としています。

以上